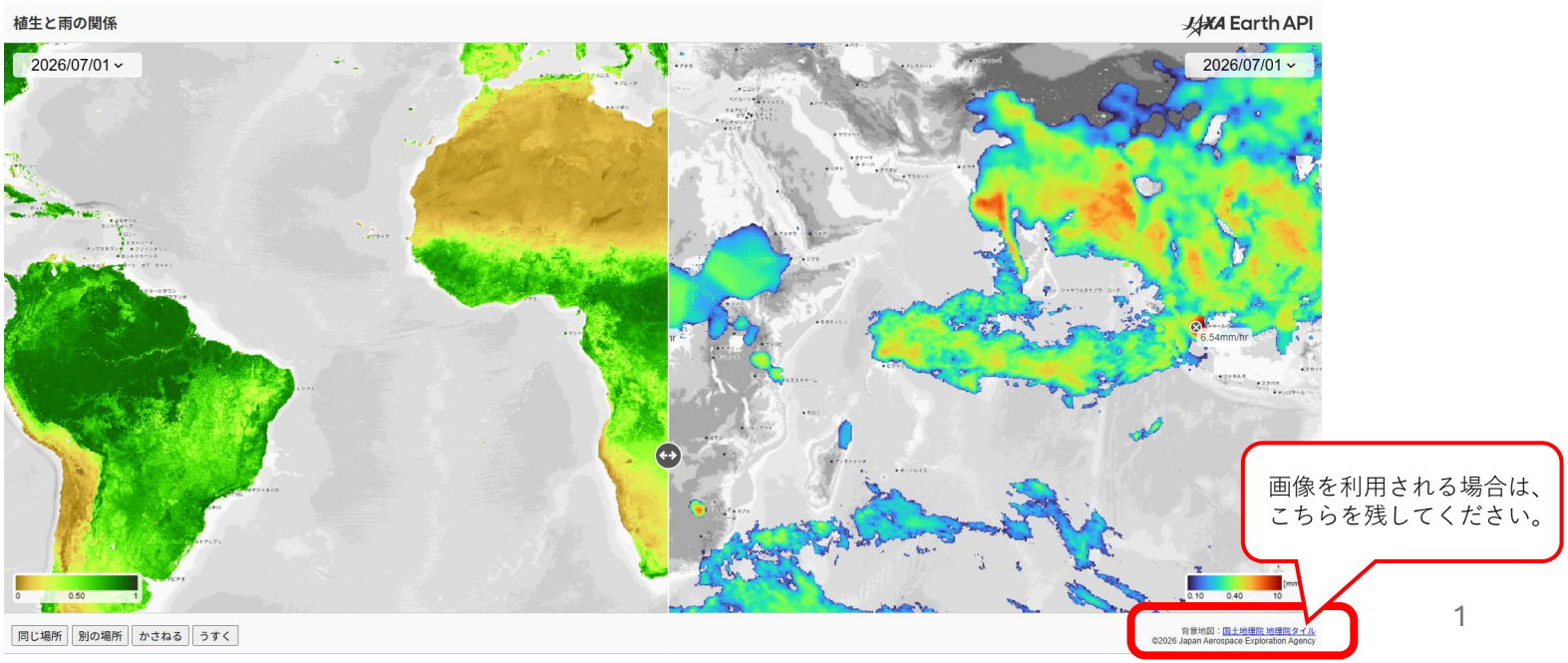
JAXA Earth API アプリ　植生と雨の関係　操作ガイド

JAXA Earth API アプリ（初級編）は、人工衛星が観測したデータを使って、地球環境の変化を調べることができます。
「海面水温と気候変動」「地表面温度の季節変化」「植生の季節変化」「植生と雨の関係」と、さまざまなデータを比較しながら観察できます。
また、２つのデータを重ねて表示することで、それぞれの関係について考えることができます。
本資料では、「海面水温と気候変動」の活用例を紹介しています。

ご利用にあたって

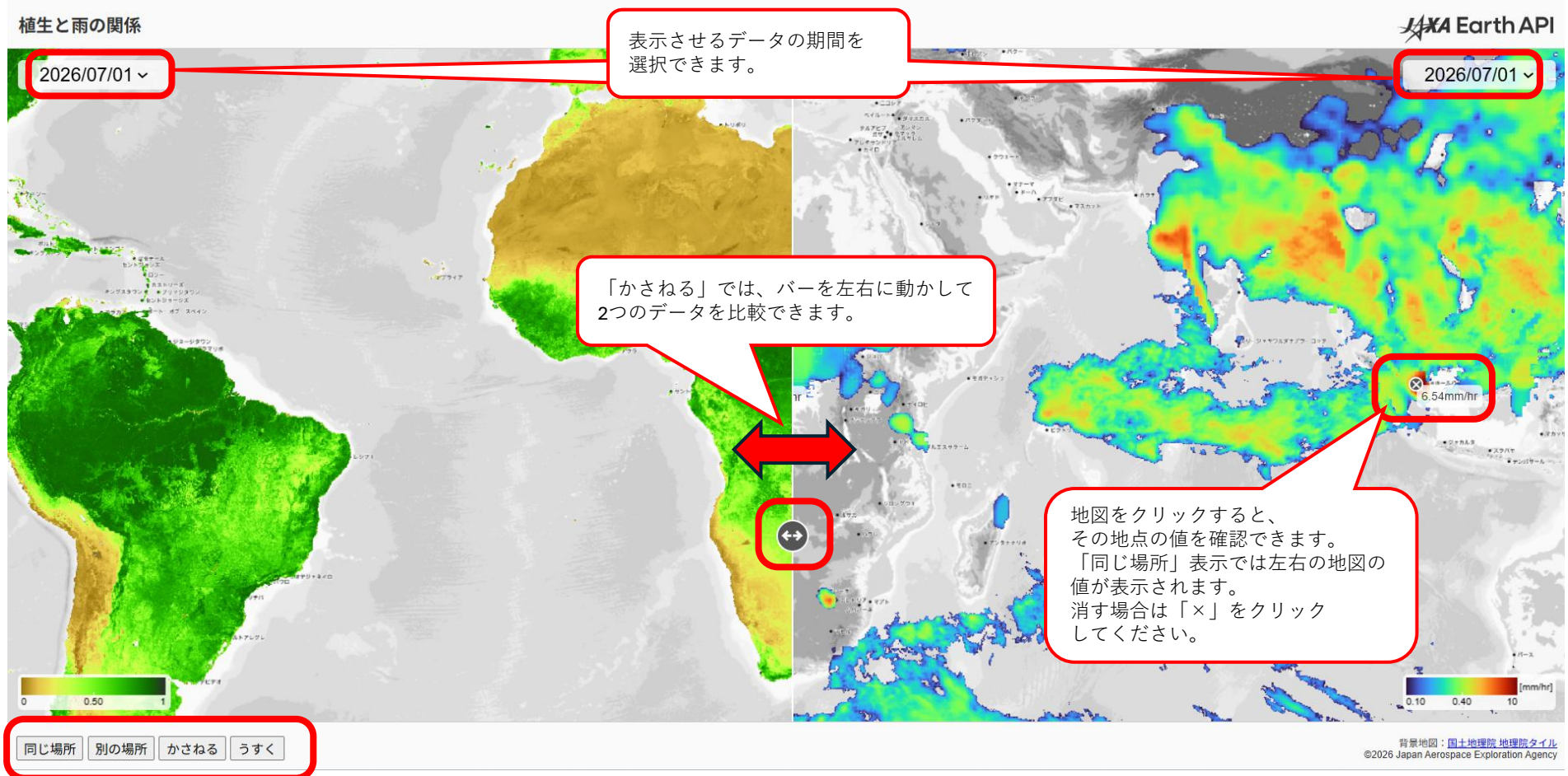
本アプリは、授業や教材作成等にご利用いただけます。アプリへのリンク掲載も可能です。
画像を利用される場合は下記画像のようにクレジット部分を残すか、同様の内容を記載してください。

※利用条件の詳細は「JAXA Earth APIご利用条件」および「研究データ等の利用条件」をご参照ください。



JAXA Earth API アプリ　植生と雨の関係　操作方法

植生と雨の関係：https://data.earth.jaxa.jp/app/edu/ndvi-rain/

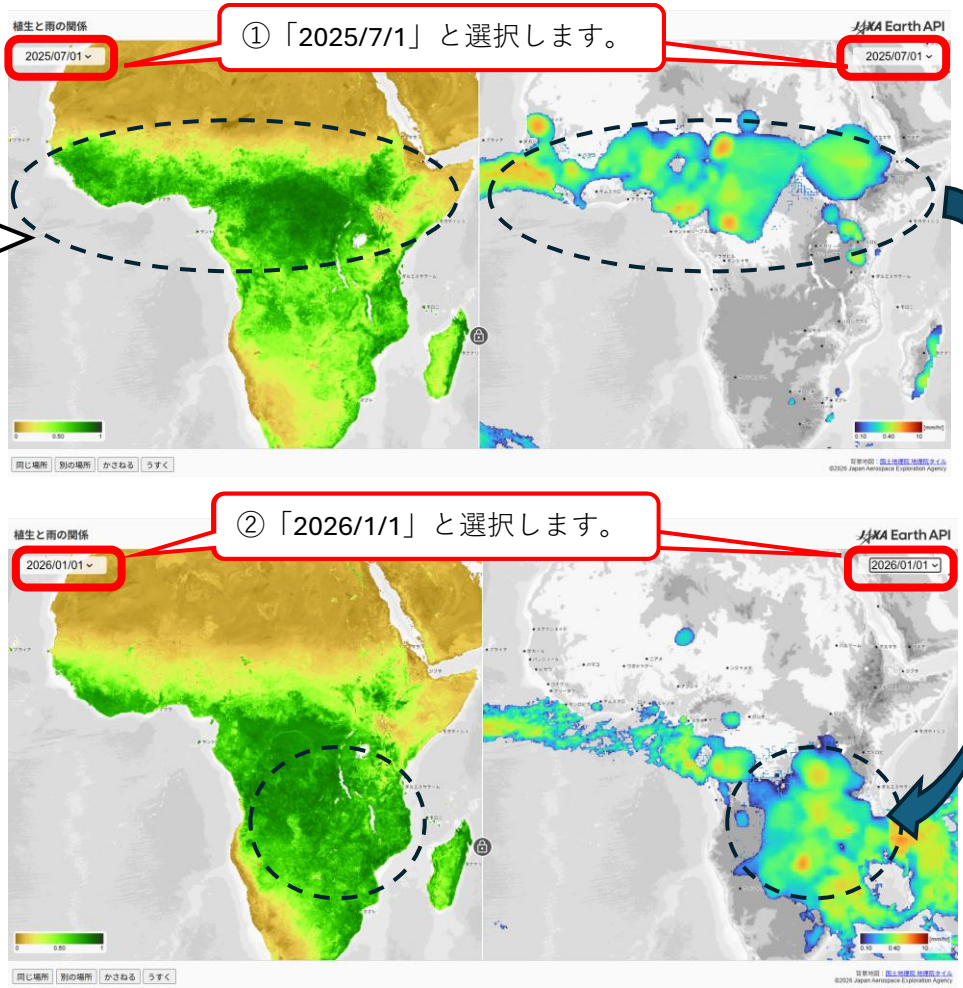


JAXA Earth API アプリ　植生と雨の関係　おすすめポイント

「植生と雨の関係」は人工衛星が観測した植生指数（NDVI）と降雨量のデータです。
植生指数は植物がどれくらい元気か（緑が多いか）を表します。
植生指数と降雨量を比較し、植物の生育状況と雨との関係を確認することができます。
植生指数は2018年2月以降、降雨量は2020年4月以降の地球全体のデータを確認できます。

アフリカ大陸の 7月と1月を比較して、雨が降っている地域と植生指数が高い地域の関係を見てみましょう。

雨が降っている地域と
植生指数が高い地域
の関係を見てみましょう。



季節に応じて雨の範囲が南北に動き、それに連動して植生も南北に動きます。
このように雨季と乾季がはっきりしており、一年中温かい場所は「サバナ気候」と呼ばれています。

「サバナ気候」はアフリカ大陸以外にもあります。
他の地域の様子も見てみましょう。